

戦後目的は観光客が戻つてきた。秋の紅葉は珍しい時代、交通の便が良くなり、長門峡に再びシーズンには賑わうようになった。昭和三十一年経済企画庁による昭和三十一年の「早稲作戦後ではない」

とキャッチフレーズを付けた。戦後の混乱期に、食生活が豊かになり、健康志向が高まり、観光客が増え、自然環境の保護が求められるようになった。その結果、自然公園の指定を受けた。現在は、観光資源として、自然環境の保護と観光の発展を目的として、自然公園の指定を受けた。

シリーズ 長門峡の歴史 ⑬ 河村明英

五十年の歴史を誇る自然公園。その歴史は、戦後の混乱期に、食生活が豊かになり、健康志向が高まり、観光客が増え、自然環境の保護が求められるようになった。その結果、自然公園の指定を受けた。現在は、観光資源として、自然環境の保護と観光の発展を目的として、自然公園の指定を受けた。

盆おどり大会の会計報告

〈収入の部〉

区分	決算額	内 訳
繰越金	398,445	
寄附金	360,000	
補助金	50,000	篠生地域づくり協議会
諸収入	170,560	バザー売り上げ他
雑収入	32	貯金利息
合計	979,037	

〈支出の部〉

区分	決算額	内 訳
役員費	15,000	慰霊祭
原材料費	173,404	バザー材料代他
需用費	242,542	抽選賞品代他
広報費	36,330	チラシ代
雑費	20,600	提灯修理、通信費他
合計	487,876	

〈差引〉 491,161
ご協力ありがとうございました

- 11、12月の予定
- 11月 3日(土) もみじ祭 (道の駅長門峡周辺)
 - 8日(木) 阿東文学講座
10:00~11:30 演題:「外郎の家」について
中原中也記念館名誉館長 福田百合子先生 (地福分館) ※入場無料
 - 20日(火) 長門峡川柳会 (自然休センター)
 - 12月 8日(土) 三園合同おゆうぎ会 (地福保育園)

篠生の人々の動き(10月1日現在)

世帯数 445戸 (-5)
人口 男性 447人 (-1)
女性 528人 (-17)
合計 975人 (-18)
※ ()内は前年同月比

篠生分館だより

第22号
2012/11/1
阿東地域交流センター
篠生分館
TEL 083-955-0011
FAX 083-955-0620



家庭料理大集合

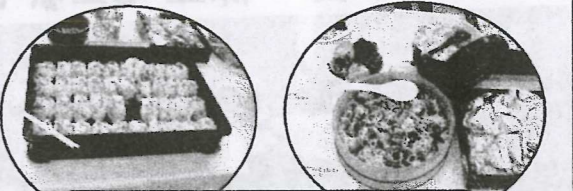
26人が52品の家庭料理を持ち寄った「家庭料理大集合」が9月25日(火)に自然休センターで開かれました。篠生の食材がふんだんに使われた、ゴボウとベーコンのきんぴら、キュウリのつくだ煮、カボチャのおぐら煮などが出品されました。
ごはん、おかず、お菓子、汁物、加工品(漬け物など)に分けられた料理を觀賞し合ったあと試食し、それぞれの料理に込められた思いなどを語り合いました。
出品者の一人は、「カボチャと小豆のように食材の新しい組み合わせを知ることができ、大変参考になりました。」と話していました。



あいさつする農女連会長の山根久子さん(親睦)は、テレビカメラの前でちょっぴり緊張気味。



真剣な表情で試食する人たち



「ごはん」に出品された料理

あとうスロー・ツーリズム推進協議会と阿東農林業女性団体連絡協議会が、地元の食文化を見つめ直すことを目的に初めて開催。篠生の特産品が広がるきっかけになるといいですね。